

ソフィアライト株式会社が開発・提供している「残業証明アプリ」は、1万3千人のユーザーがスマートフォン内にインストールし、未払い残業代請求に活用されている。エンドユーザーのスマートフォン内に蓄積された残業データは、残業代請求の依頼時にソフィアライト社との提携弁護士に直接送られ、弁護士は残業代請求を行える仕組みになっている。本アプリの概要とポイントについて、代表の石川裕氏に話を聞いた。

すでに1万3千人が活用

弁護士法を徹底遵守したアプリを開発

未払い残業代請求数が増えている。インターネット等からの情報入手や、権利意識の高まりによって、これまで泣き寝入りしてきた労働者も、企業に対して未払いの残業代を請求するようになってきていることが考えられる。

このニーズの高まりにもなると、労働者側が簡易に未払いの残業代を請求できるスマートフォンアプリも登場している。

ソフィアライト社（東京都港区）が開発した「残業証明アプリ」もそのひとつだ。

「弊社の「残業証明アプリ」は、すでに1万3千人以上のユーザーの方にご活用いただいています」と語るのは、このアプリを開発した代表取締役社長の石川裕氏だ。

「残業証明アプリ」は、スマートフォン内にアプリをダウンロードし活用しているエンドユーザーが退職するときなどに、アプリ内のボタンを押すだけでソフィアライト社と提携している弁護士の元に勤務状況を記録したデータが送られ、残業代請求手続きの依頼がなされる。

依頼を受けた弁護士は、依頼者に架電。成功報酬などの詳細について合意がなされた段階で、依頼者と弁護士間で契約、残業代請求に向けて動き出す。

「本アプリを開発するにあたって、もっとも注意したのは弁護士法をいかに遵守するかという点です。開発の際には複数の弁護士の先生に監修に入りましたが、念を押されたのもその部分です」（石川氏）

たとえば、「残業証明アプリ」では、エンドユーザーである労働者が蓄積した勤務状況のデータを、サーバー上にアップロードすることはない。すべてのデータをユーザーのスマートフォン内に記録、残業請求を弁護士に依頼する際に初めて記録された情報が弁護士の元に届く仕組みになっている。

「これは開発を監修した弁護士からコンプライアンスの点で言われたことです。残業データをアプリ業者側のサーバーに送って保管し、請求の依頼があったときに、アプリ業者から広告主の弁護士へとデータを渡す方法だと非弁提携の疑惑をもたれかねないから止めたほうがいいと。なので当社はエンドユーザーのアプリ側にデータを保存しておいて、依頼するときにデータを直接弁護士に送るという方法を採用しました。アプリ業者がデータに中途介在できず、非弁提携等が原理的

残業証明アプリの仕組み



にできない究極のコンプライアンスを実現しています」

当然、エンドユーザーは手元にあるデータを改ざんすることは不可能。万が一、異常なデータ改ざんがなされた場合にも、ソフィアライト社側でその改ざんを察知する二重チェック機能も働く。

精緻な位置情報を記録可能
アプリを活用し残業代請求を実現

「残業証明アプリ」は、GPS機能を活用し、スマートフォン内にアプリをダウンロードした労働者が、何時から何時まで、勤務先の企業にいたのかを正確に記録する。残業代請求を行う際に、そのデータが強力な証拠として機能する。

一般的なGPSは、電波状況などによって、位置情報に誤差が出ることがある。「残業証明アプリ」では、独自のロジックを用いてその誤差を補正する機能を持つ。

「たとえば会社を出たあとに、会社のすぐ脇の居酒屋で一杯飲んでた。それを残業代請求に加えられたら困りますよね。そういった位置情報も認識できる機能を持っています。また、電波の取得困難モードがついていますので、GPSの電波をキャッチしづらいところでも正確な位置情報を記録します。

開発にあたってはGPSの専門家を探すのに苦労しました。カーナビの開発者で、ハードとソフトの両方に精通している専門家を探し出し、実現できたアプリ

です」（石川氏）

「残業証明アプリ」を活用して、すでに未払い残業代請求を実現している。

「青森のケースなのですが、学校に勤務されていた職員の方がサービス残業を強いられていました。弊社が「残業証明アプリ」を活用して未払い残業代を請求、青森の弁護士先生と進めていただいて、無事残業代を支払ってもらえましたと感想をいただいています」（石川氏）

現在、ソフィアライト社では「残業証明アプリ」ユーザーの未払い残業代請求を受けてくれる弁護士を探している。

「残業代請求は、労働者のための働き方改革にとっても非常に大きな意義があります。残業代が正しく支払われると実質的なGDPが2.5%上がると言われています。私は本物の働き方改革はここにあると思っています。

「ダラダラ残業やサービス残業はやめて、一定の労働時間の中で密度の高い仕事をして欲しい。日本の労働生産性をあげないといけない。弁護士の先生方の力を貸して欲しいと思っています」（石川氏）

「残業証明アプリ」へのお問い合わせはこちら
ソフィアライト株式会社
TEL: 03-5860-8145
info@sophialight.co.jp



弁護士が語る
GPSアプリのポイント

東京有楽町法律事務所
元日弁連常務理事
弁護士 藤村義徳氏

GPSの位置情報は未払い残業代請求のための法的証拠としての価値について、ポイントは2点あると思います。ひとつはGPSの精度の問題。位置情報をいかに正確に記録できるかという技術的な問題についてです。もうひとつ、これは弁護士にとって大変重要な点なのですが、残業記録を証拠として残すアプリおよびその運営において、アプリ業者が弁護士法を遵守しているかどうかです。このコンプライアンスを守ることにに関して、データが業者を間に介さず、エンドユーザーから直接弁護士に送られるという仕組みは大変重要だと思います。これが弁護士法を徹底的に守る、非弁行為や非弁提携を避けるためのひとつの方法だと考えられますね。